



きりき優 (自民党)

1. 多摩市の地域福祉について
2. デジタル社会への対応について
3. クマ対策や熱中症対策について

問 市内の介護福祉事業者へ支援を実施すべきではないか。
答 物価高騰等対策支援給付金や資格等取得費補助金を実施、8月の都の取組み等と連携して従事者増を図りたい。
問 ケアマネジャーの命を守るためモニタリング訪問など運営基準の解釈を変更できないか。

答 難しい課題ではあるが、今後調査研究していきたい。
問 流行が指摘される麻疹の対策を強化すべきではないか。
答 市内での感染は確認されていないが、南多摩保健所等と連携し注意喚起や予防接種の実施を進めていく。

問 多摩市は今後もファイル共有にPPAP方式※を使うのか。
答 安全に手間なく運用できるよう継続的に見直していく。
問 巧妙化複雑化するトリック対策を強化すべきでは。

答 防犯機器等購入補助金の実施や注意喚起を進める。

問 多摩市のクマ対策の状況はどうなっているか。

答 追い払い、箱わな、麻酔銃、緊急銃猟等の対応となる。頭数把握、頭数制限、生息範囲の抑制等を都に要望した。法改正と都の対応マニュアル改訂を確認していく。



※PPAP方式とは…メールを送付する際、1通目としてパスワード付きZIPファイルを送付し、2通目としてパスワードが記載されたメールを送付する方式



あらたに隆見 (公明党)

公共施設・インフラの更新とDXの推進について

問 市役所本庁舎・多摩第三小学校・給食センターと建替え予定の施設は床面積が増えるが、アセットマネジメント計画で施設全体の床面積総量はどのように考えているのか伺う。

答 市の施設全体で2割の床面積削減をめざしている。

問 今後の公共施設に求められる役割について伺う。

答 多目的・多分野・多用途での利用が可能となる公共施設への転換と効率的な活用が求められると考えている。

問 アセットマネジメント計画では公共施設の場のシェアを示しているが条例はどのように整理しているか伺う。

答 条例上でどのような整理が必要か検討していく。

問 新技術が進む中、インフラや設備に詳しい技術者の確保やデジタル技術の導入について市の考えを伺う。

答 技術の研究と職員の計画的な採用、研修に努めていく。

問 都営住宅建替工事の請負事業者倒産により大幅に工事遅延になるが、影響をどう受け止めているか伺う。

答 事業全体が遅れ新居移転を控えた方々の生活への影響を心配しており、都に適宜住民への説明を要請していく。



池田けい子 (公明党)

1. 若者に応える！アフォーダブル住宅
2. 働きたい高齢者に応える！シルバー人材センターについて

問 物価高騰や居住費の上昇が子育て世帯等に与える影響について、また転入出の状況を伺う。

答 移住・定住に大きく影響を及ぼすものと捉えている。多摩市は住宅コストに加え、交通利便性や生活環境等の理由から、子育て世帯を中心に転入超過が続いている。

問 手頃な家賃である「アフォーダブル住宅」を、多摩市も都と連携して導入すべきだと思うがいかがか。

答 東京都やUR都市機構などの関係機関と情報共有、意見交換しながら、展開できるよう働きかけていく。

問 人手不足の現状や、シニアの就労ニーズにおいてはシルバー人材センターの役割は大変重要と考える。就労率を注視し、就業条件の変更に対しては事前通知のルール化等、会員に寄り添った支援をお願いしたいがいかがか。

答 フリーランス法の趣旨を踏まえ、円滑な調整を図る。

問 会員の命を守るために熱中症対策の補助金アップ、会員の負担軽減のために就業報告書の電子化を要望する。

答 他の動向も踏まえ検討し、DX化に取り組んでいく。



伊集院さとし (自民党)

1. 多摩市の通学路におけるカーブミラーの調整と新設について
2. 有料指定ごみ袋の確保について

問 子どもたちの平均身長や交通量の変化により、過去に設置されたカーブミラーでは視認しにくくなっている箇所度角度や高さの改修が行われているか伺う。

答 現時点では歩行者の視線等に応じた角度や高さの調整は行っていない。新たに開発道路が整備されるなど、周辺環境の状況を確認した上で、必要に応じて、移設や角度調整を行っている。

問 市が管理しているカーブミラーの数を伺う。

答 約1,000基である。

問 カーブミラーの設置要望、設置件数を伺う。

答 設置要望は、令和7年度は16件あり、そのうち、2件についてカーブミラーを新設した。

問 カーブミラー等道路付属物のメンテナンスの状況について伺う。

答 経年により鏡面が割れたり、柱が腐食することもあるため、道路パトロールや市民からの通報を受けて、都度改修を進めている。

